

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション

コード番号 8119 URL <http://www.sanyeicorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 小平敏之

TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,339	3.6	912	△21.6	1,004	△19.2	586	△17.2
24年3月期第3四半期	24,458	△5.0	1,163	△7.7	1,243	△5.8	708	43.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 706百万円 (19.8%) 24年3月期第3四半期 589百万円 (7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	50.67	48.98
24年3月期第3四半期	61.25	59.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	16,652	7,627	44.2	635.53
24年3月期	15,372	7,183	45.2	600.58

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,360百万円 24年3月期 6,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
25年3月期	—	8.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	3.5	1,300	△19.1	1,400	△20.4	800	△18.5	69.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	12,764,732 株	24年3月期	12,764,732 株
25年3月期3Q	1,182,989 株	24年3月期	1,205,195 株
25年3月期3Q	11,577,368 株	24年3月期3Q	11,563,858 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の強力な金融緩和や思い切った経済政策への強い期待感を背景として、株価の急回復や円安の急速な進展など、12月中旬以降、金融資本市場における顕著な動きが見られました。しかしながら、実態経済においては、復興需要を背景として緩やかな景気回復傾向は継続したものの、今後の増税問題や雇用不安を背景にした消費者心理の冷え込みに加えて、中国をはじめとする新興国の経済減速懸念や、米国における「財政の崖」問題が煽っていることもあり、引き続き、景気下振れリスクを抱えた厳しい状況が継続しました。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間については、家具・家庭用品事業セグメントの売上が増加したことを主因に、連結売上高は前年同期比3.6%増加の253億3千9百万円となりました。利益面では、売上高の増加および売上総利益率の向上により、売上総利益が前年同期比5.3%増加の72億2百万円となりました。しかしながら、新設連結子会社の人件費および先行投資的な経費増や、広告宣伝費等の販促費の増加の他、新社屋建設に伴う経費の増加により、販管費が前年同期比6億1千3百万円増加したことから、営業利益は同21.6%減少の9億1千2百万円となりました。この結果、経常利益については、持分法による投資利益等は増加したものの、同19.2%減少の10億4百万円となり、四半期純利益も同17.2%減少の5億8千6百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具・家庭用品事業)

当セグメントでは、国内専門店向けリビング家具や国内での携帯端末商材の他、米国向けキッチン用品などのOEM事業の売上が堅調に積み上がりました。さらに、当セグメントの新たなブランド事業として、WMFブランド事業を営む新設子会社ヴェーエムエフジャパンコンシューマーズ(株)の売上が加わったことから、当セグメントの売上高は前年同期比11.8%増加の123億4千万円となりました。セグメント利益については、新設子会社による先行投資的な経費増もあり、同11.4%減少の5億4千1百万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当セグメントでは、専門店向けキャリーバッグの売上や防災用品の売上などのOEM事業は堅調に推移しました。ブランド事業については、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」が、一部商品の値下げにより、売上足数は増加しましたが、売上高については前年同期と同水準に留まりました。この結果、当セグメントの売上高は、前年同期比5.3%増加の68億5千5百万円となりました。セグメント利益については、「ビルケンシュトック」の一部商品の値下げや販促費等の経費増もあり、同13.9%減少の6億3千2百万円となりました。

(家電事業)

当セグメントでは、三發電器製造廠有限公司が欧州経済低迷の影響や前年まで好調だった小物生活家電の商品鮮度低下などから売上が減少するなど、OEM事業には厳しい環境となりました。ブランド事業においては、モッズ・ヘアブランドの理美容家電の国内売上が引き続き堅調に推移しましたが、当セグメントの売上高については前年同期比14.5%減少の34億9千3百万円となりました。セグメント利益については、三發電器製造廠有限公司のOEM先見直しに伴う一時的なコスト増もあり、6千5百万円の赤字となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億8千万円増加の166億5千2百万円となりました。主な資産の変動は、「現金及び預金」が9千9百万円、流動資産の「その他」が1億1千9百万円、それぞれ減少した一方、「建物及び構築物」が5億9千4百万円、「商品及び製品」が7億5千万円、それぞれ増加しております。

主な負債の変動は、「未払法人税等」が2億8千1百万円減少した一方、「短期借入金」が10億5千2百万円増加しております。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が2億8千5百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は44.2%、1株当たり純資産は635円53銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,876,525	1,776,786
受取手形及び売掛金	5,429,537	5,838,493
有価証券	16,087	—
商品及び製品	2,700,009	3,450,120
仕掛品	36,986	49,467
原材料及び貯蔵品	124,461	157,864
繰延税金資産	245,833	128,861
前渡金	107,772	117,753
前払費用	81,244	66,851
短期貸付金	1,268	1,021
その他	466,844	347,141
貸倒引当金	△7,992	△10,188
流動資産合計	11,078,578	11,924,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	788,206	1,383,011
機械装置及び運搬具（純額）	143,702	137,708
工具、器具及び備品（純額）	100,782	97,207
土地	827,502	827,502
リース資産（純額）	8,071	3,874
建設仮勘定	278,618	806
有形固定資産合計	2,146,883	2,450,109
無形固定資産		
リース資産	21,519	11,872
その他	308,437	291,002
無形固定資産合計	329,956	302,875
投資その他の資産		
投資有価証券	1,339,938	1,477,745
長期貸付金	18,236	17,109
繰延税金資産	45,615	55,247
破産更生債権等	2,830	973
その他	460,618	474,102
貸倒引当金	△51,420	△50,743
投資その他の資産合計	1,815,819	1,974,433
固定資産合計	4,292,659	4,727,418
繰延資産		
創立費	946	801
繰延資産合計	946	801
資産合計	15,372,183	16,652,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,089,379	1,277,563
短期借入金	3,294,905	4,347,064
リース債務	19,381	15,711
未払法人税等	422,015	140,864
賞与引当金	306,055	230,666
役員賞与引当金	53,712	29,960
未払金	946,770	955,661
未払費用	237,030	248,663
未払消費税等	85,035	26,450
その他	185,639	229,894
流動負債合計	6,639,924	7,502,500
固定負債		
長期借入金	1,200,000	1,200,000
リース債務	11,688	822
繰延税金負債	381	382
再評価に係る繰延税金負債	81,906	81,906
退職給付引当金	149,664	137,658
役員退職慰労引当金	18,437	19,946
資産除去債務	33,517	34,744
その他	53,508	46,847
固定負債合計	1,549,106	1,522,308
負債合計	8,189,030	9,024,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	645,678	645,815
利益剰余金	6,201,881	6,487,775
自己株式	△314,408	△309,097
株主資本合計	7,534,065	7,825,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,135	61,662
繰延ヘッジ損益	8,167	73,272
土地再評価差額金	64,686	64,686
為替換算調整勘定	△672,594	△664,522
その他の包括利益累計額合計	△591,603	△464,899
新株予約権	91,446	106,833
少数株主持分	149,244	160,242
純資産合計	7,183,153	7,627,583
負債純資産合計	15,372,183	16,652,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	24,458,482	25,339,165
売上原価	17,617,818	18,136,218
売上総利益	6,840,664	7,202,946
販売費及び一般管理費		
販売費	1,020,352	1,260,364
一般管理費	4,656,671	5,030,198
販売費及び一般管理費合計	5,677,024	6,290,563
営業利益	1,163,639	912,382
営業外収益		
受取利息	1,651	2,563
受取配当金	17,941	18,477
為替差益	45,868	30,796
持分法による投資利益	44,893	63,225
その他	10,864	12,794
営業外収益合計	121,218	127,856
営業外費用		
支払利息	29,788	34,952
その他	11,961	1,285
営業外費用合計	41,749	36,237
経常利益	1,243,108	1,004,001
特別利益		
固定資産売却益	20	2,399
その他	2,979	4,789
特別利益合計	2,999	7,188
特別損失		
固定資産売却損	1,982	160
固定資産除却損	11,742	2,495
関係会社整理損	5,039	—
減損損失	75	301
特別退職金	6,046	—
その他	2,673	300
特別損失合計	27,559	3,258
税金等調整前四半期純利益	1,218,549	1,007,932
法人税、住民税及び事業税	342,785	383,410
法人税等調整額	151,711	45,152
法人税等合計	494,497	428,562
少数株主損益調整前四半期純利益	724,051	579,369
少数株主利益	15,817	△7,249
四半期純利益	708,234	586,619

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	724,051	579,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,927	53,526
繰延ヘッジ損益	△45,640	65,104
土地再評価差額金	11,605	—
為替換算調整勘定	△88,713	8,319
その他の包括利益合計	△134,674	126,951
四半期包括利益	589,376	706,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	582,253	713,323
少数株主に係る四半期包括利益	7,123	△7,002

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,038,863	6,512,345	4,084,994	21,636,204	2,822,278	24,458,482	—	24,458,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,958	22,322	60	28,341	42,126	70,468	△70,468	—
計	11,044,822	6,534,668	4,085,055	21,664,545	2,864,404	24,528,950	△70,468	24,458,482
セグメント利益又は 損失(△)	611,974	734,674	39,366	1,386,014	△44,655	1,341,359	△177,719	1,163,639

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△177,719千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,340,453	6,855,262	3,493,474	22,689,190	2,649,974	25,339,165	—	25,339,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,972	43	7,508	24,524	57,951	82,476	△82,476	—
計	12,357,425	6,855,306	3,500,982	22,713,715	2,707,926	25,421,641	△82,476	25,339,165
セグメント利益又は 損失(△)	541,998	632,747	△65,748	1,108,997	37,813	1,146,810	△234,427	912,382

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△234,427千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。